

# 資料編

## Contents

---

■青森県民の意識に関する調査 調査結果の概要	165
■「青森県基本計画未来への挑戦」におけるめざす状態の検証	175
■「青森県基本計画未来を変える挑戦」策定フロー図	179
■「青森県基本計画未来を変える挑戦」策定の経緯	180
■青森県総合計画審議会委員名簿	181
■地域別計画検討委員会委員名簿	182

# 青森県民の意識に関する調査 調査結果の概要

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

この調査は、「青森県基本計画未来を変える挑戦」を策定するに当たり、暮らしやすさや各生活局面における県民意識や意見等を把握し、県の政策や施策に反映させることを目的として実施しました。

### (2) 調査の内容

- ①お住まいの地域の暮らしやすさ
- ②県内への定住志向
- ③各生活局面(49項目)の現状認識(重要度、充足度)
- ④将来に向けた青森県の取組等
- ⑤自由回答

### (3) 調査の実施方法

- ①調査地域・・・青森県全域
- ②調査対象・・・16歳以上の男女
- ③標本数・・・10,000
- ④抽出方法・・・無作為抽出法
- ⑤調査期間・・・平成25年4月15日～4月26日（ただし、5月9日到着分までのデータを集計対象としています。）

### (4) 回収の結果

標本数①	総回収数	無効(白紙回答)	有効回答数②	回収率(②/①×100)
10,000	4,688	21	4,667	46.67%

### (5) 回答者の属性

#### ①性別

区分	回答者数	構成比
総数	4,667	100.0%
男性	1,744	37.4%
女性	2,086	44.7%
当該項目無回答	837	17.9%

#### ②年齢別

区分	回答者数	構成比
総数	4,667	100.0%
16～19歳	159	3.4%
20～29歳	350	7.5%
30～39歳	616	13.2%
40～49歳	660	14.1%
50～59歳	913	19.6%
60～69歳	1,004	21.5%
70歳以上	894	19.2%
当該項目無回答	71	1.5%

### ③居住地域別

区分	回答者数	構成比
総数	4,667	100.0%
東青地域(青森市、東津軽郡)	1,089	23.3%
中南地域(弘前市、黒石市、平川市、中津軽郡、南津軽郡)	1,004	21.5%
三八地域(八戸市、三戸郡)	972	20.8%
西北地域(五所川原市、つがる市、西津軽郡、北津軽郡)	474	10.2%
上北地域(十和田市、三沢市、上北郡)	666	14.3%
下北地域(むつ市、下北郡)	267	5.7%
当該項目無回答	195	4.2%

### ④職業等別

区分	回答者数	構成比
総数	4,667	100.0%
自営業	500	10.7%
会社・団体役員	513	11.0%
給与所得者	1,051	22.5%
自由業(医師、税理士など)	40	0.9%
パートタイム、アルバイト	486	10.4%
専業主婦(主夫)	449	9.6%
高校生	89	1.9%
専門学校生、短大生、大学(院)生	74	1.6%
無職	1,204	25.8%
その他	153	3.3%
当該項目無回答	108	2.3%

## 2 調査結果

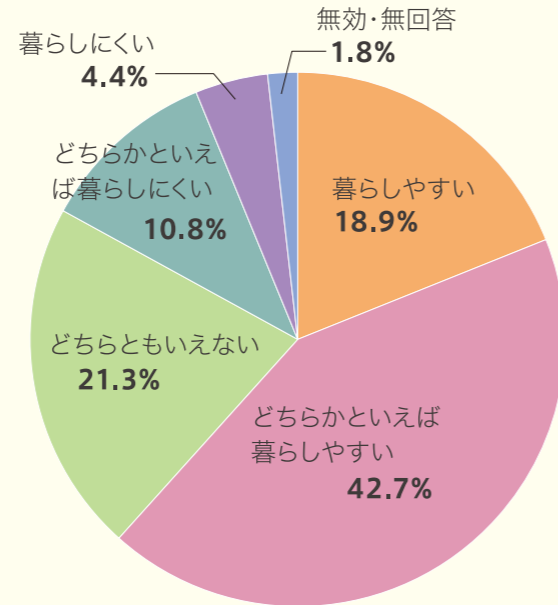
### (1) お住まいの地域の暮らしやすさ

約6割の県民が「暮らしやすい」と感じています。

お住まいの地域の暮らしやすさを尋ねたところ、「暮らしやすい」という回答は18.9%、「どちらかといえば暮らしやすい」という回答は42.7%となっており、合計61.6%の県民が現在住んでいる地域を「暮らしやすい」と感じています。

暮らしやすい+どちらかといえば暮らしやすい=61.6%

暮らしにくい+どちらかといえば暮らしにくい=15.2%



#### 〈自由記述から〉

「暮らしやすい」理由には、病院や買い物するスーパーなど、暮らしに密着した施設が近くにあり便利であるという意見が多く、「暮らしにくい」理由には、冬季の除雪の負担を挙げる意見が多く見られます。

#### 「暮らしやすい」理由

- 病院、スーパー、学校、銀行、コンビニなどが近くて便利だから
- バスなどの交通の便が良いから
- 海や山が近いなど自然が豊かだから
- 近所との付き合いが良好だから
- (自分が住んでいる地域は)雪が少ないから など

#### 「暮らしにくい」理由

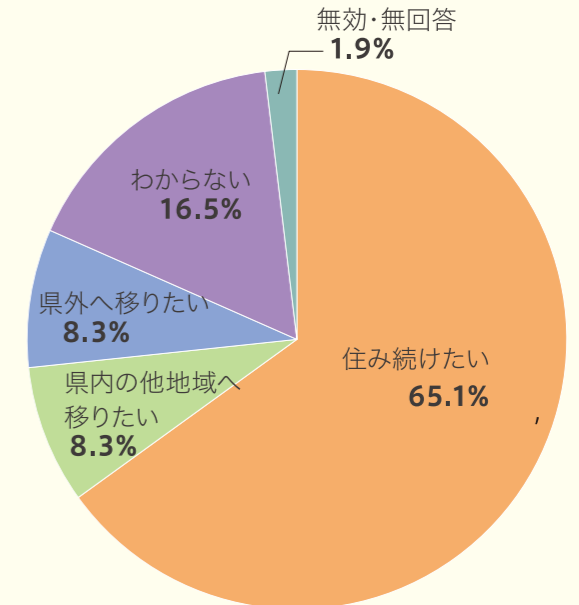
- 雪が多く、除雪が大変だから
- 交通の便が悪いから
- 病院やスーパーが遠く、買い物が不便だから
- 働く場所が少ないから など

### (2) 住んでいる地域への定住志向

約73%の県民が県内への定住志向を示しています。

現在の居住地への定住志向について尋ねたところ、「住み続けたい」という回答が65.1%となっているほか、「県内の他地域へ移りたい」という回答と合わせると、73.4%の県民が県内への定住志向を示しています。

住み続けたい+県内の他地域へ移りたい=73.4%



#### 〈自由記述から〉

家族や友人がいる住み慣れた土地だから住み続けたいなどの意見が多いものの、冬季の除雪の負担や交通の便の悪さから、県内他地域へ移りたいという意見も見られます。

#### 「住み続けたい」理由

- 生まれ育ち、住み慣れた土地だから
- 山や海が近いなど自然環境がいいから
- 病院やスーパーなどが近く、交通が便利だから
- 家族や友人がいるから
- 青森が好きだから
- 近所の人との関係がよいから など

#### 「県内の他地域へ移りたい」理由

- 雪の少ない地域へ移りたいから
- 買い物や病院が心配だから
- 交通が不便だから など

#### 「県外へ移りたい」理由

- 雪が多く、除雪が大変だから
- 老後は暖かい場所に住みたいから
- 交通の便が良い場所に移りたいから
- 賃金が低いから など

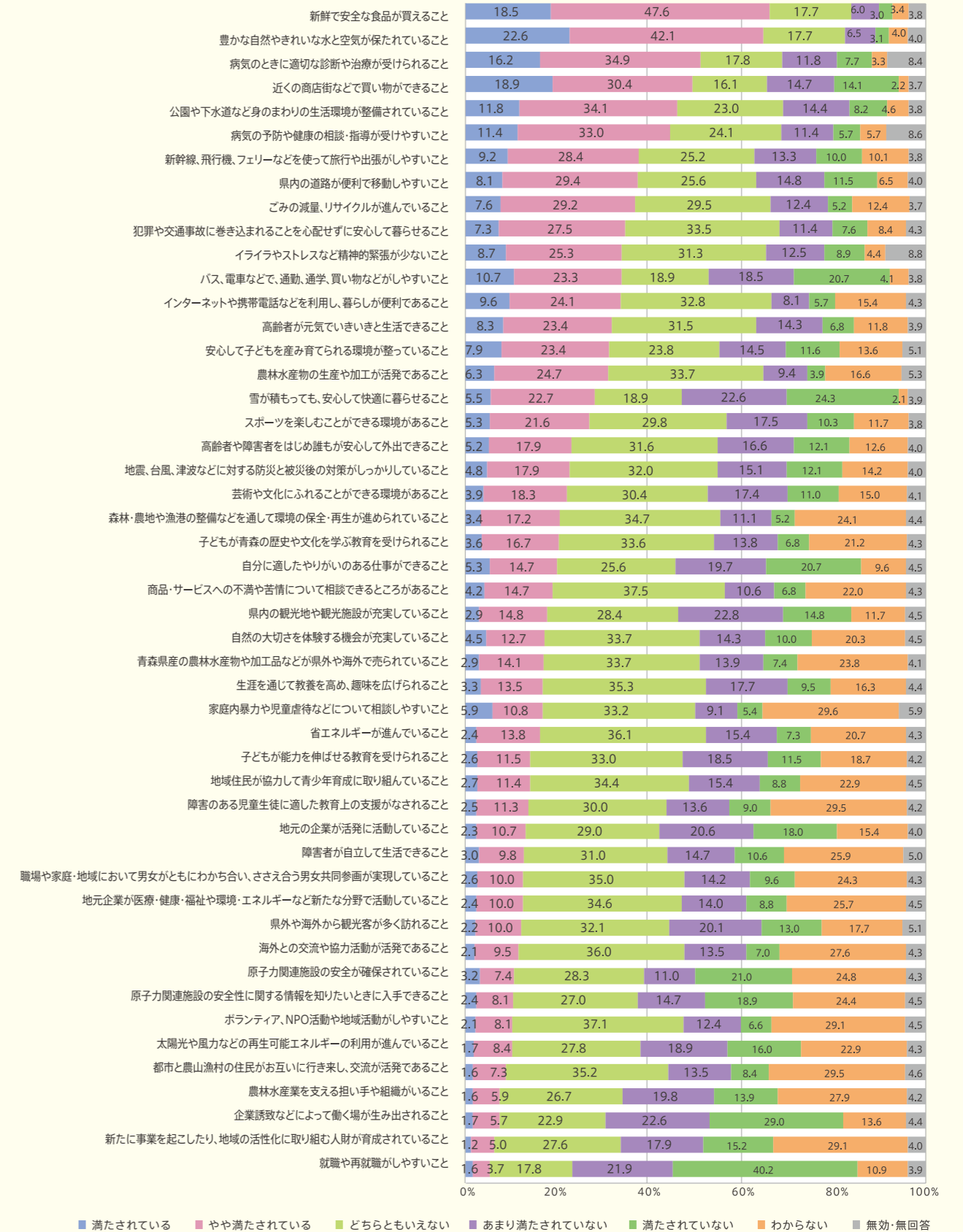
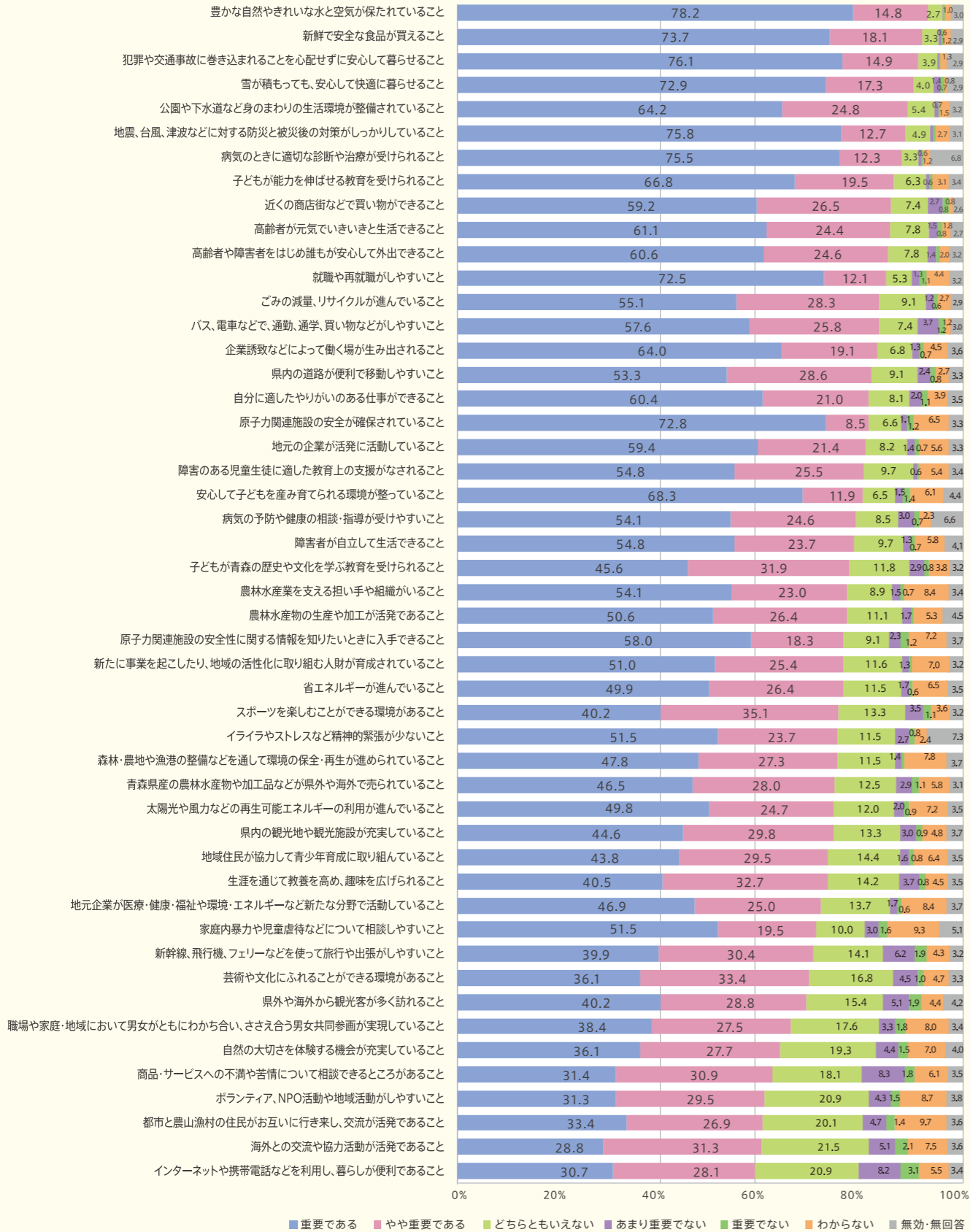
(3)各生活局面(49項目)の現状認識

①重要度

「豊かな自然やきれいな水と空気が保たれていること」や「新鮮で安全な食品が買えること」などの重要度が90%を超え高くなっています。

②充足度  
ア 全体

「新鮮で安全な食品が買えること」や「豊かな自然やきれいな水と空気が保たれていること」の充足度が高くなっている一方で、「就職や再就職がしやすいこと」などの充足度が低くなっています。



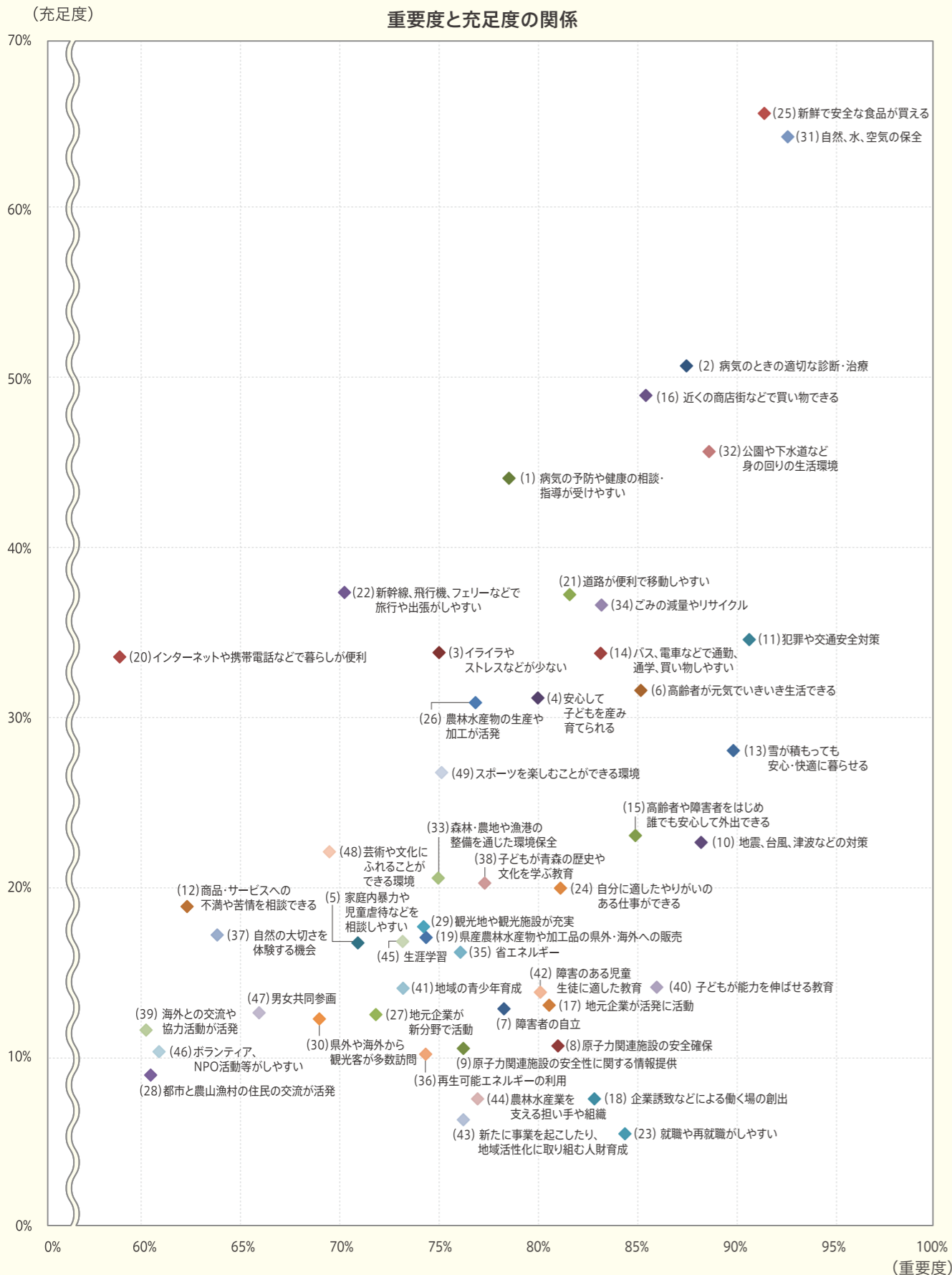


[参考]重要度と充足度の関係

横軸は重要度、縦軸は充足度を表しています。

右(上)へ向かうほど、重要(充足)の割合が高く、左(下)へ向かうほど重要(充足)の割合が低いことを示しています。

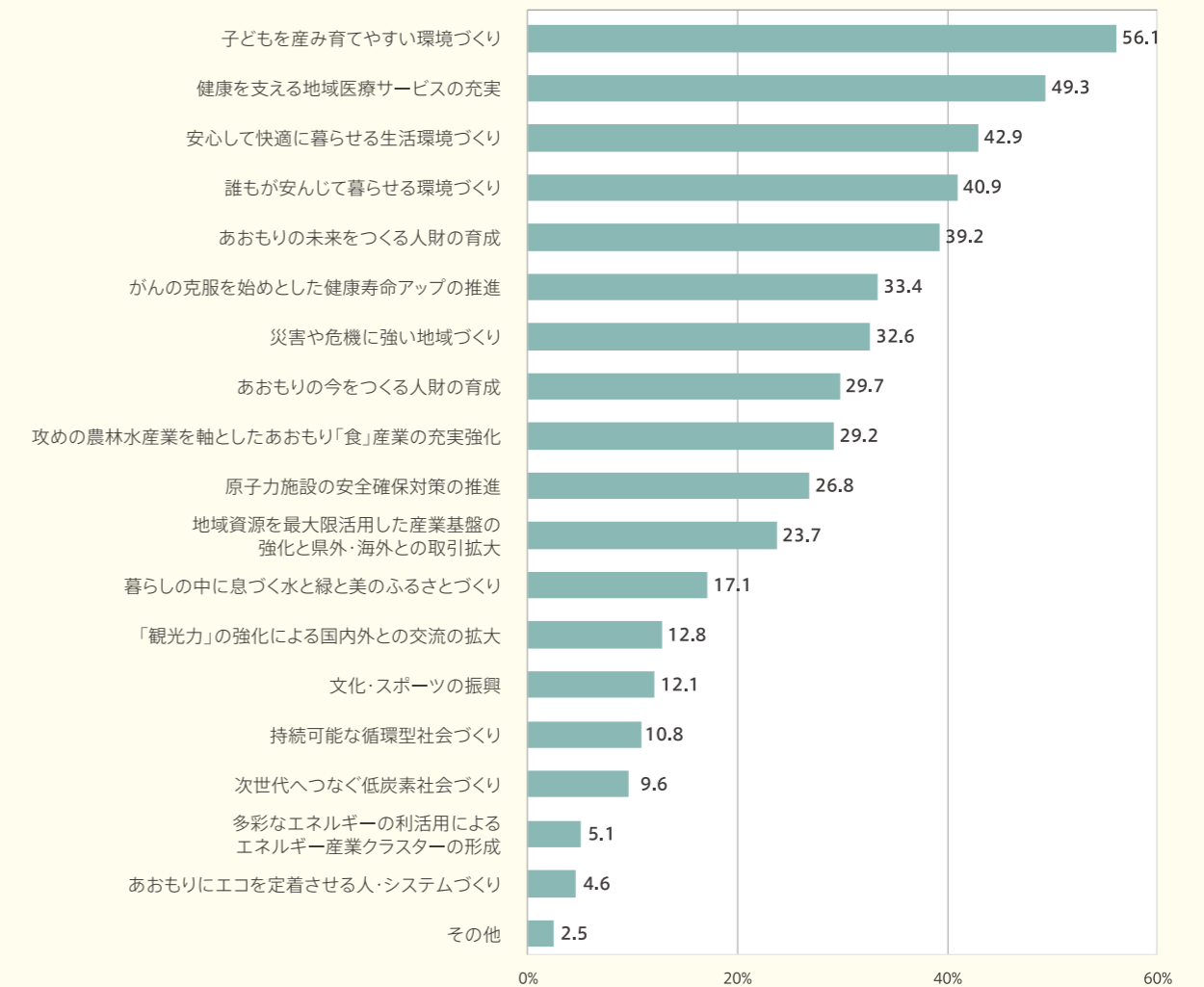
※「重要度」は今回のアンケート結果に基づき整理した相対的なものです。



(4) 将来に向けて必要な取組

約56%の県民が「子どもを産み育てやすい環境づくり」が特に重要であると考えています。

青森県が、将来に向けて取り組むべき内容について、特に重要であると思われるものを5つまで尋ねたところ、最も多かったのが「子どもを産み育てやすい環境づくり」で56.1%、次いで「健康を支える地域医療サービスの充実」で49.3%、「安心して快適に暮らせる生活環境づくり」で42.9%、「誰もが安心して暮らせる環境づくり」で40.9%、「あおもりの未来をつくる人財の育成」で39.2%、「がんの克服を始めとした健康寿命アップの推進」で33.4%、「災害や危機に強い地域づくり」で32.6%、「あおもりの今をつくる人財の育成」で29.7%、「攻めの農林水産業を軸としたあomorい「食」産業の充実強化」で29.2%、「原子力施設の安全確保対策の推進」で26.8%、「地域資源を最大限活用した産業基盤の強化と県外・海外との取引拡大」で23.7%、「暮らしの中に息づく水と緑と美のふるさとづくり」で17.1%、「観光力」の強化による国内外との交流の拡大」で12.8%、「文化・スポーツの振興」で12.1%、「持続可能な循環型社会づくり」で10.8%、「次世代へつなぐ低炭素社会づくり」で9.6%、「多彩なエネルギーの活用によるエネルギー産業クラスターの形成」で5.1%、「あomorいにエコを定着させる人・システムづくり」で4.6%、「その他」で2.5%となっています。



(5) 「暮らしやすい」と思う青森県の姿について(自由意見)

子育てしやすい、医療や教育が受けやすい、働く場所がある、交通の便が良い、原子力施設の安全が確保されている、除雪対策がなされているなどの意見が寄せられました。

「暮らしやすい」と思う青森県の姿の主なもの

- 子どもを育てやすいこと
- 働く場所があり、収入が安定していること
- 原子力施設の安全が確保されていること
- 自然が豊かであること
- 医療や教育が充実していること
- 交通が便利なこと
- 冬の除雪対策がしっかりしていること
- など

## 「青森県基本計画未来への挑戦」におけるめざす状態の検証

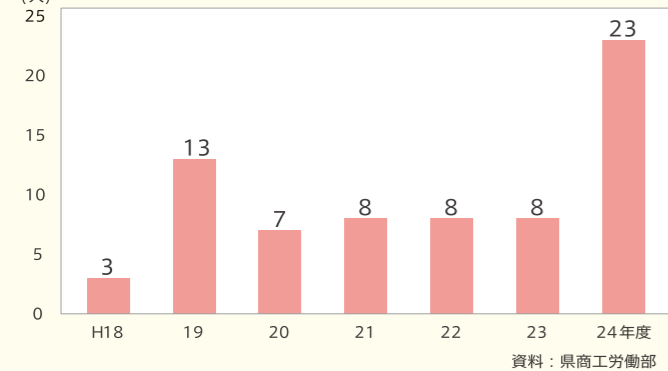
「青森県基本計画未来への挑戦」では、2030年におけるめざす姿に向かい着実に針路を進めていくため、夢への羅針盤として、「5年後におけるめざす状態」を下記の①、②のように掲げています。

- ① 創業・起業、企業誘致、既存企業の拡大などによる雇用の場の創出・拡大が進められているとともに、子育て支援環境の充実により、若年層の県外流出と出生率の低下に一定の歯止めが掛かっています。
- ② 医療機関の機能分担や連携に向けた取組など、地域において保健・医療・福祉のサービスが切れ目なく受けられる体制づくりが進められています。また、県民が病気に対する正しい知識を持ち、健康的な生活習慣づくりや疾病予防に取り組んでいる。

県が基本計画に基づく取組を進めてきた結果について、下線のキーワードについて関連指標を用いて分析し検証します。

### 【創業・起業】

(人) 県内の創業支援拠点を活用した創業者数の推移

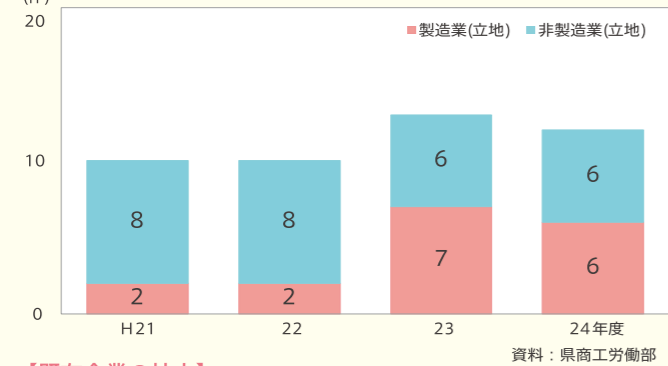


本県では、「創業チャレンジクラブ」(青森市)、「起業・創業等相談ルーム」(青森市)、「ひろさきビジネス支援センター」(弘前市)、「アントレプレナー情報ステーション」(八戸市)の4か所の創業支援拠点を活用した創業者が毎年コンスタントに新規創業を果たしています。

創業支援拠点では、創業・起業支援の専門家やインキュベーション・マネジャー、関係機関が連携して創業・起業を支援しています。

### 【企業誘致】

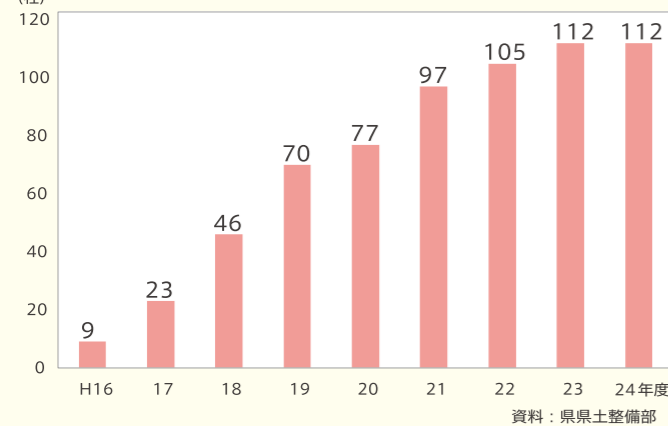
(件) 青森県の企業誘致件数の推移



リーマンショックや円高などの影響で国内景気が低迷し、企業の海外移転が進む中であっても、本県の企業誘致件数は順調に推移しています。近年は、コールセンターを始めとした非製造業の誘致件数が増加しています。県が企業誘致を始めた昭和37年からの累計企業誘致件数は497件に達しています。(平成24年度末)

### 【既存企業の拡大】

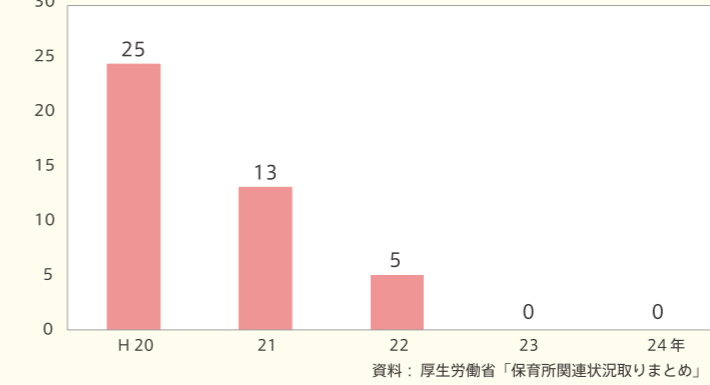
(社) 建設企業における新分野進出企業数の推移 (累計)



建設企業における新分野進出企業数は、累計で112社に達しています。

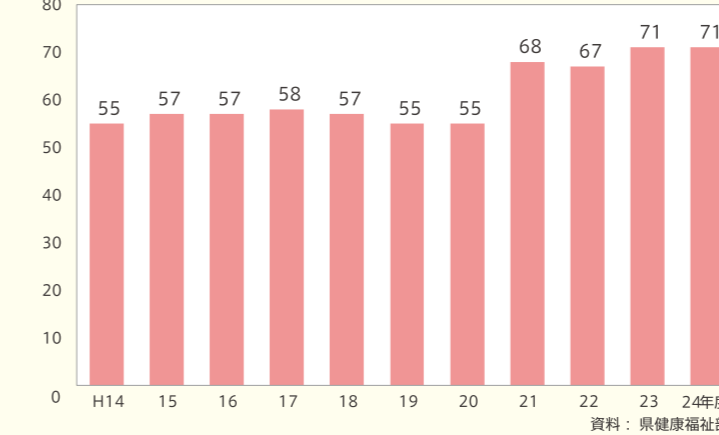
### 【子育て支援環境】

(人) 保育所待機児童数の推移



本県の保育所待機児童数は着実に減少し、平成23年以降は待機児童の解消が図られています。

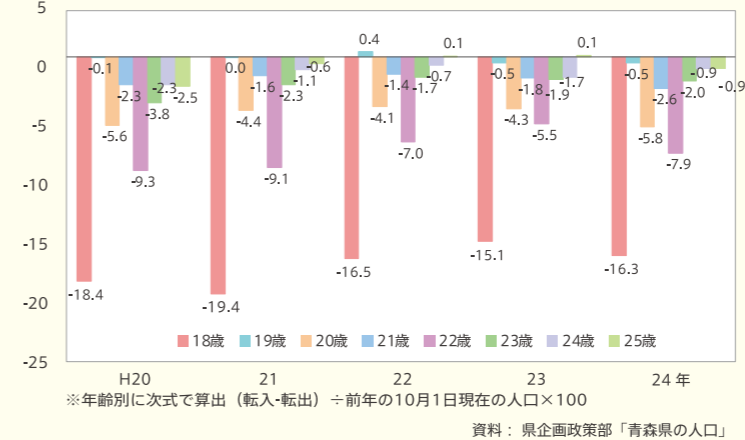
(万件) 乳幼児はつらつ育成事業補助件数



小学校就学前の乳幼児に対する医療費の自己負担分を助成する「乳幼児はつらつ育成事業」の活用は増加傾向です。

### 【若年層の県外流出】

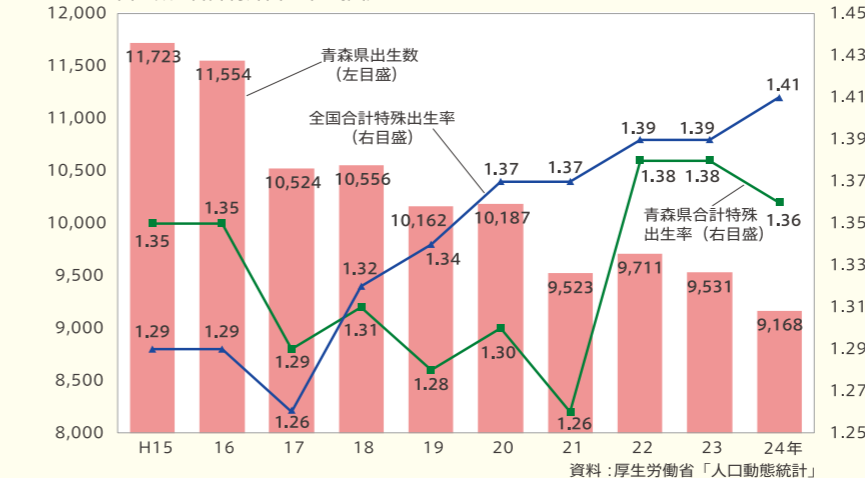
(%) 若年層の県外流出の推移 (各年齢における人口増減率)



若年層の県外流出は近年減少傾向にありましたが、平成24年は増加に転じています。

### 【出生率の低下】

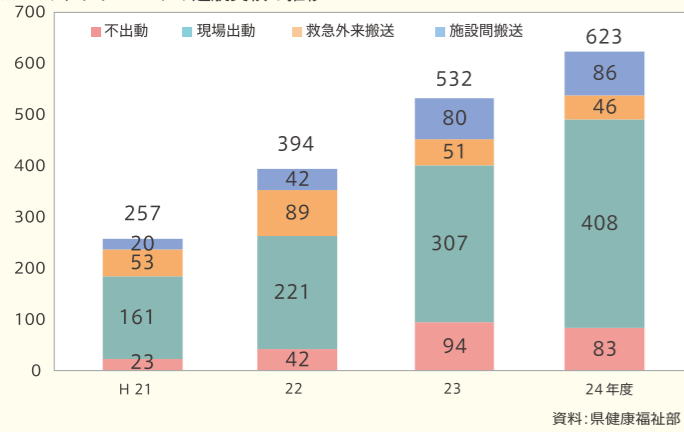
(出生数:人) 出生数と合計特殊出生率の推移



本県の出生数は減少傾向にあり、合計特殊出生率は平成18年以降全国平均より低い水準で推移しています。

【医療機関の機能分担や連携に向けた取組】

(要請件数:件) ドクターヘリの運航実績の推移

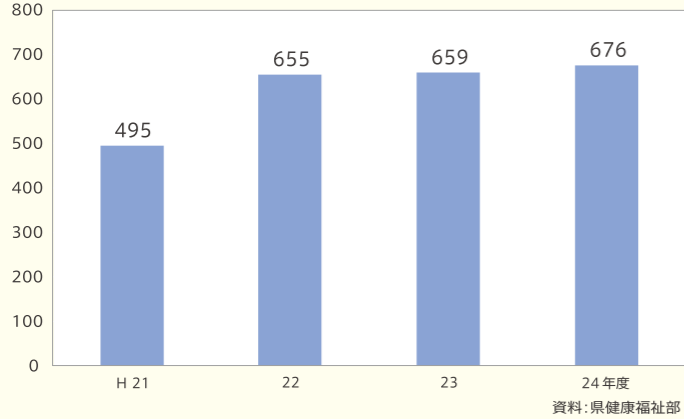


弘前大学医学部附属病院、青森県立中央病院、八戸市立市民病院の3か所の救命救急センター体制に加え、平成24年10月からは、ドクターヘリ2機体制運用により、救急医療体制の一層の拡充が図られました。

また、自治体病院機能再編成計画の早期具体化に向け、西北五圏域の施設整備などを支援しました。

【地域において保健・医療・福祉のサービスが切れ目なく受けられる体制づくり】

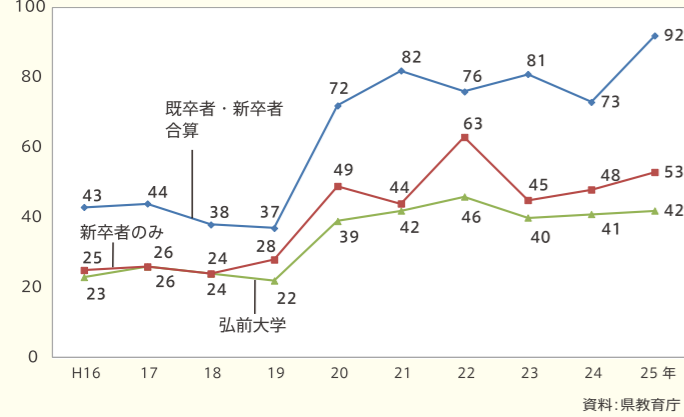
(人) 地域連携バス(脳卒中)運用人数



県民が生涯にわたり地域において安心して生活できるようにするため、市町村における保健・医療・福祉包括ケアシステムの運営体制の充実・強化を支援しました。

県は、包括ケアシステムを効果的なものとするために、医療と保健・福祉のサービスを連動させる地域連携バスを6保健医療圏において開発・普及してきました。平成22年度に診療報酬において評価されたこともあり、運用が定着しつつあります。

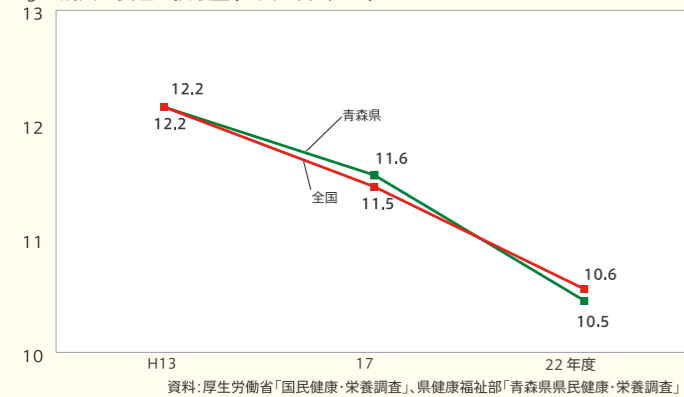
(人) 県内高校からの医学部医学科合格者数(各年3月時点)



医師確保について、近年は、県内高校からの医学部医学科合格者数がコンスタントに70名を超え、特に平成25年は92名に達しています。

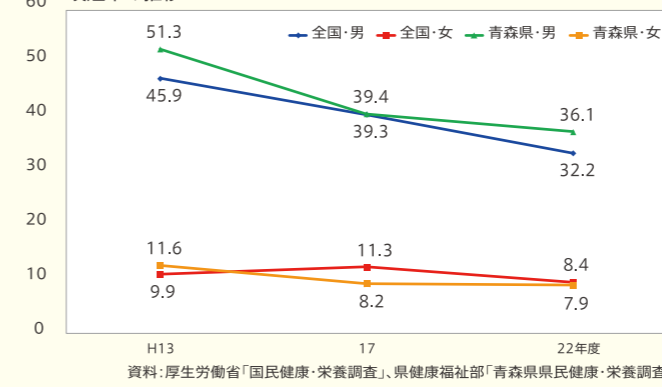
【健康的な生活習慣づくり】

(g) 成人の食塩の摂取量(1人1日当たり)



健康増進計画「健康あおり21」の目標値である10g/日未達は達成できませんでしたが、成人の食塩の摂取量は減少しており改善傾向にあります。

(%) 喫煙率の推移

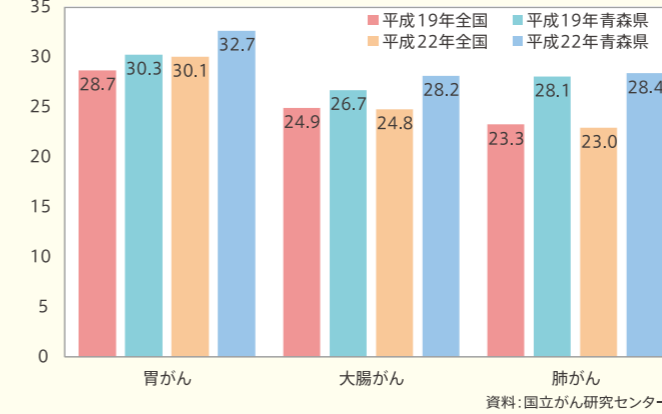


喫煙率については、男女とも減少傾向にありますが、男性は全国平均を上回って推移しています。

健康増進計画「健康あおり21」の目標値(男性25%以下、女性5%以下)は男女とも達成できませんでした。

【疾病予防】

(%) 40歳以上のがん検診受診率の推移



本県の40歳以上のがん検診受診率(胃がん、大腸がん、肺がん)は、20%～30%前後で推移しており、全国平均を上回っていますが、青森県がん対策推進計画で定めた目標値50%は達成できませんでした。

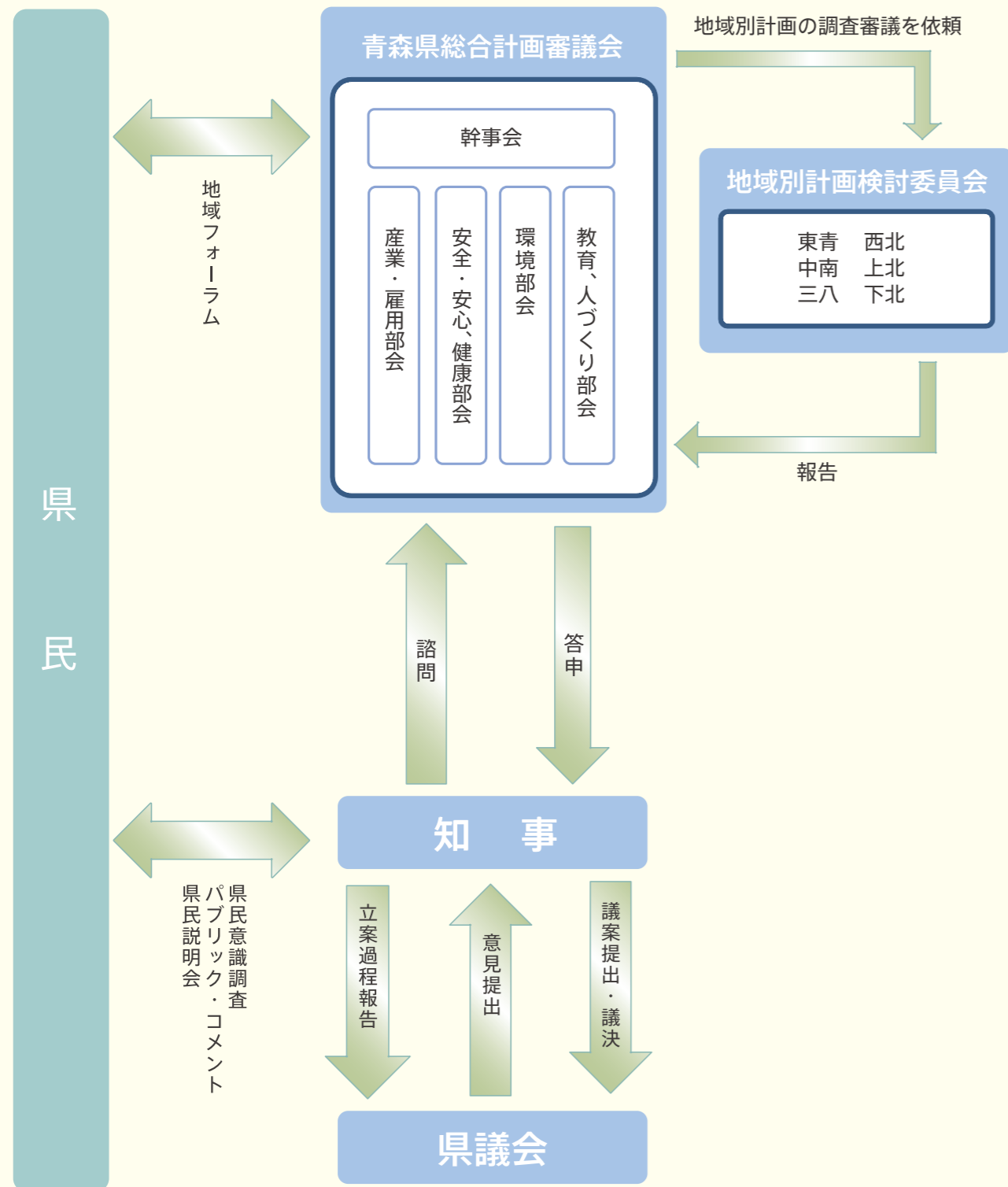
総括的検証

- 建設企業の新分野進出が進められてきているとともに、創業・起業や企業誘致など新規雇用の場の創出は着実に進められており、結果として有効求人倍率は23年ぶりの高水準を維持しています。  
平成23年以降、保育所待機児童の解消が図られているとともに、小学校就学前の乳幼児に対する医療費助成件数も増加しているなど、本県の子育て支援環境は充実してきていると言えます。  
一方で、若年層の県外流出率は減少傾向にありましたが直近では増加に転じています。  
また、出生率については全国平均を下回っており、出生数も減少傾向で推移するなど、少子化は進行している状態と言えます。  
今後は、プラスの動きの維持・向上を図り、更なる雇用の場の拡大と人口減少の抑制に向けた取組を進めていくことが必要です。
- 県内3か所の救命救急センター体制に加え、ドクターヘリの2機体制運用により、救急医療体制の一層の拡充が図られています。  
また、自治体病院機能再編成の早期具体化に向け、医師不足が深刻な西北五圏域の施設整備などを支援したほか、市町村における保健・医療・福祉包括ケアシステムの運営体制の充実・強化への支援、県内高校からの医学部医学科への合格者増加に向けた取組など、県民が生涯にわたり地域において安心して生活できるような体制づくりを進めました。  
生活習慣病対策については、男性の喫煙率、女性の食塩摂取量、がん検診の受診率は改善傾向ですが、いずれも目標値に達していないことから、平均寿命の更なる延伸に向け、県民のヘルスリテラシー(健やか力)向上のための意識改革など健康づくりの取組を強力に推し進めることが必要です。

以上の検証により、「青森県基本計画未来への挑戦」で掲げた「5年後におけるめざす状態」に向かって、おおむね進んできていると言えます。



「青森県基本計画未来を変える挑戦」策定フロー図



「青森県基本計画未来を変える挑戦」策定の経緯

時 期	内 容
平成25年1月4日	次期青森県基本計画の策定について庁議報告
平成25年1月25日	第16回青森県総合計画審議会(知事から計画策定を諮問)
平成25年2月～7月	青森県総合計画審議会 各部会の開催ー4分野ごとに6回開催
平成25年4月15日～26日	青森県民の意識に関する調査の実施
平成25年4月～7月	地域別計画検討委員会開催ー6地域ごとに3回開催
平成25年6月10日	青森県総合計画審議会 幹事会ー「骨格案」作成
平成25年6月28日	第17回青森県総合計画審議会ー知事に26年度の取組を提言
平成25年7月31日・8月20日	青森県総合計画審議会 幹事会ー「骨子案」の作成
平成25年8月27日	第18回青森県総合計画審議会ー「素案」決定
平成25年8月30日～9月5日	地域フォーラムー「素案」について県民の皆様へ説明
平成25年9月11日	青森県総合計画審議会 幹事会ー「答申案」の検討
平成25年9月18日	第19回青森県総合計画審議会ー「答申案」の決定
平成25年9月18日	次期青森県基本計画の策定について答申
平成25年9月25日	次期青森県基本計画原案決定
平成25年9月25日	次期青森県基本計画原案の県議会への立案過程における報告
平成25年9月26日～10月25日	次期青森県基本計画のパブリック・コメント
平成25年10月23日	県民説明会
平成25年11月8日	青森県基本計画未来を変える挑戦(案)庁議決定
平成25年12月9日	青森県基本計画未来を変える挑戦県議会議決

青森県総合計画審議会委員名簿

(部会別、五十音順、敬称略) 平成25年12月現在

分野	職名	氏名	職名等
	会長	末永 洋一	一般財団法人青森地域社会研究所特別顧問
産業・雇用部会	部会長	井口 泰孝	弘前大学学長特別補佐
	委員	稲垣 輝紀	食料品小売店経営
	委員	江尻 佳穂	八戸みなと漁業協同組合管理部長
	委員	佐藤 大介	株式会社星野リゾート・トナム代表取締役総支配人
	委員	西 秀記	青森商工会議所副会頭
	委員	藤代 典子	青森100年ブランド事務所代表
	委員	宮下 俊郎	日本銀行青森支店長
	委員	吉田 誠也	青森県農業経営士会会長
安全・安心、健康部会	部会長	久保 薫	青森中央短期大学学長
	委員	木村 亜希	行政書士
	委員	工藤 淳	NPO法人青森県防災士会相談役
	委員	清野 真由美	NPO法人弘前子どもコミュニティ・びーふる代表理事
	委員	中村 由美子	青森県立保健大学看護学科教授
	委員	古川 あき	十和田・三沢地域産業保健センターコーディネーター
	委員	村上 秀一	公益社団法人青森県医師会副会長
環境部会	部会長	橋本 淳一	陸奥工業株式会社八戸セメント事業部長
	委員	川岸 朋美	生活協同組合コープあおもり下北地域理事
	委員	佐藤 久美子	八戸工業高等専門学校物質工学科准教授
	委員	鈴木 拓也	八戸工業大学工学部講師
	委員	高田 敏幸	NPO法人岩木山自然学校理事長
	委員	福田 昭良	株式会社テラソル常務取締役
教育、人づくり部会	部会長	高山 貢	青森中央学院大学経営法学部教授
	委員	大坂 美保	青森市PTA連合会顧問
	委員	大谷 真樹	八戸学院大学学長
	委員	工藤 倫子	キャリアカウンセラー
	委員	佐井 憲男	元五所川原高校校長
	委員	田中 弘子	NPO法人あおもりNPOサポートセンター理事長
委員	毛利 精悟	生命保険会社ライフプランナー	

地域別計画検討委員会委員名簿

(敬称略、順不動、■は委員長) 平成25年7月現在

	氏名	職名等	氏名	職名等	氏名	職名等	氏名	職名等
東青地域	井上 主税	青森農業協同組合代表理事組合長	木浪 昭	外ヶ浜漁業協同組合代表理事組合長	櫻田 稔	(公社)青森観光コンベンション協会専務理事	櫻庭 洋一	青森商工会議所専務理事
	佐々木 俊介	青森公立大学教授	澤谷 悦子	県国民健康保険団体連合会保健活動推進専門員	長峰 英雄	(株)ITB東北青森支店支店長	七尾 潔	東郡地区商工会連絡協議会会長
	三津谷 廣明	平内町漁業協同組合代表理事組合長	柳澤 泉	シニア野菜ソムリエ	山谷 詠子	青森市食生活改善推進員会会長	杉山 潔	青森市企画調整課長
	船橋 文隆	平内町総務課長	斎藤 始	今別町企画課長	濱田 亮	蓬田村総務課長	宮本 一男	外ヶ浜町参事・総務課長
中南地域	石田 祥久	青森地域広域事務組合参事・広域振興室長	北山 功三	青森県東青地域県民局長				
	秋田 麗子	弘前商工会議所女性会副会長	内海 光義	ベストウェスタンホテルニューシティ弘前総支配人	小笠原 金一	(株)みちのく銀行執行役員弘前営業部長	小友 久美子	弘前市結核野地区保健衛生委員会会長
	小野寺 昭生	(株)青森銀行弘前支店支店長	小谷田 文彦	弘前大学人文学部准教授	齊藤 元伸	(公社)弘前観光コンベンション協会観光振興部主査	椎名 啓祐	(株)コア代表取締役社長
	鹿内 葵	NPO法人スポーツ弘前クラブマネージャー	清野 真由美	NPO法人弘前子どもコミュニティ・びーふる代表理事	千葉 心	くろいし・ふるさと・りんご村理事	對馬 郁夫	つがる弘前農業協同組合りんご部部長
	福士 拓弥	津軽伝承工芸館館長	前田 清敏	前田電子(株)代表取締役会長	村上 美栄子	農業生産法人(有)ANEKKO代表取締役	佐々木 公誠	弘前市経営戦略部行政経営課長
	千葉 毅	黒石市企画財政部企画課長	西谷 司	平川市企画財政部企画財政課長	三上 幸雄	西目屋村総務課長	能登谷 英彦	藤崎町企画財政課長
	前田 克則	大崎町企画観光課長	福士 勝	田舎館村企画観光課長	高原 至智	青森県中南地域県民局長		
三八地域	阿部 孝悦	NPO法人リサイクル材料技術研究所理事	石塚 勝栄	(一財)八戸地域産業振興センター専務理事専務局長	板橋 玲子	八戸保健所結核審査協議会委員	市田 淳治	(地独)青森県産産技術センター八戸地域研究所所長
	上柿 富久夫	東北建機工業(株)代表取締役社長	大岡 長治	(公社)八戸観光コンベンション協会専務理事	岡田 益男	八戸工業高等専門学校校長	河村 喜久雄	八戸みなと漁業協同組合専務理事
	川村 雅敏	八戸水産加工業協同組合連合会専務理事	木村 和幸	日本政策金融公庫八戸支店支店長	木村 聡	八戸広域観光推進協議会観光コーディネーター	佐藤 勝俊	八戸工業高等専門学校産学交流・キャリア教育支援コーディネーター
	高橋 俊行	八戸地域社会研究会会長(八戸学院短期大学教授)	高森 訓	八戸商工会議所事務局長兼業務部長	田中 久子	NPO法人青森なんぶの連者村代表理事	中村 世志朗	(一社)青森県農協連会八戸支部副支部長
	丹羽 浩正	八戸学院大学副学長	日比野 良彦	八戸環境保全会会長(三菱製紙八戸工場上野執行役員工場長)	藤田 成隆	八戸工業大学学長	藤村 幸子	はちのへ女性まちづくり協会の会代表
	類家 伸一	NPO法人循環型社会創造ネットワーク理事長	若林 政秀	八戸農業協同組合営農部長	千葉 憲志	八戸市総合政策部次長(政策推進課長)	田丸 実	三戸町総務課長
	新井田 壽弘	五戸町企画振興課長	藤村 幸栄	田子町総務課長	坂本 志美	南部町企画調整課長	田中 昇	階上町総合政策課参事
	井上 隆美	新郷村総務課参事(総務課長)	中嶋 和行	青森県三八地域県民局長				
	伊藤 一弘	NPO法人かなぎ元気倶楽部専務理事	川嶋 大史	つがる市フィルムコミッション会長	木村 夢知子	鶴田町食生活改善推進協議会会長	栗村 圭一	青森公立大学地域研究センター主任研究員
	今 俊順	(一社)青森県建設協会青年部会幹事	渋谷 尚子	企業組合でる・そーれ代表	渋谷 房子	津軽鉄道(株)顧問	神 かづ子	中泊町クリーン・ツーリズムの会「かはし」会長
対馬 逸子	津軽半島観光コンシェルジュの会「めぐネット」事務局長	中川 幸子	保健協力員	奈良 睦英	つがるにしきた農業協同組合園芸部長	平井 太郎	弘前大学大学院地域社会研究科准教授	
福田 博明	新深浦町漁業協同組合総括部長	藤田 治一	五所川原商工会議所専務理事	宮田 敦子	(一財)板柳町産業振興公社りんごこわく研究所総合案内班	八木澤 淳	(株)トーサム代表取締役	
八木橋 健	(株)ふかうら開発代表取締役専務	世永 星	環境コンシェルジュ	岩川 和雄	五所川原市財政部企画課長	成田 頼司	つがる市総務部企画調整課長	
平田 衛	鯉ヶ沢町政策推進課長	佐藤 洋一	深浦町企画財政課長	田澤 靖也	板柳町企画財政課長	澤田 武彦	鶴田町総務課長	
飯塚 吾朗	中泊町総務課長	藤岡 正昭	青森県西北地域県民局長					
上北地域	及川 直文	日本原燃(株)地域本部地域交流部副部長	大山 安博	上北農産加工業協同組合事業部長	長利 洋	北里大学獣医学部教授	欠畑 茂治	(株)スーパーカケモ代表取締役社長
	白石 鉄右工門	十和田観光電鉄(株)取締役社長	田中 清一	「七戸の明日を考える、まちづくり100人会議実行委員会代表	新井山 洋子	セーフコミュニティとわたをすすめる会会長	宮澤 秀男	野辺町文化財を守る会事務局長
	森田 玲子	社団法人十和田湖国立公園協会観光婦人部会長	横道 彰	十和田市企画財政部政策財政課長	山本 剛志	三沢市政策財政部政策調整課長	橋本 邦夫	野辺町地域戦略課長
	高坂 信一	七戸町企画調整課長	棟方 晃祥	六戸町企画財政課長	田中 圭二	横浜町企画財政課長	鶴ヶ崎 豊志	東北町企画課長
	鈴木 洋光	六ヶ所村企画調整課長	小向 仁生	おいらせ町企画財政課長	三上 俊孝	青森県上北地域県民局長		
	五十嵐 健志	NPO法人シェルフォレスト川内理事長	小川 千恵	NPO法人むつ下北子育て支援ネットワークひろば代表理事	佐藤 淳	青森中央学院大学経営法学部専任講師	島 康子	あおぞら組組長
下北地域	島野 慶司	佐井定期観光(株)事務局長	杉沢 光子	つづし生活改善グループ代表	杉林 隆	むつ商工会議所中小企業振興部長	成田 幸雄	大畑町漁業協同組合総務部長
	西堀 恵子	下北未来塾事務局長	二本柳 玲子	AMLS(アムレス)協議会会長	長谷 雅恵	下風呂温泉女将の会	原 英輔	斗南丘陵農協農業協同組合代表理事組合長
	藤島 文孝	下北地方森林組合参事	三浦 博	(一社)むつ青年会議所理事長	村口 要太郎	(有)村口産業代表取締役	山崎 孝悦	東通★東風塾塾長
	光野 義厚	むつ市総務政策部企画調整課長	岩佐 育夫	大間町企画経営課長	坂本 茂樹	東通村経営企画課長	五十州 和彦	風間浦村総務課長
	鹿嶋 年男	佐井村総務課長						

これからどうなる青森県  
2030年の青森県  
今からこうする青森県  
政策・施策体系  
産業・雇用  
安全・安心・健康  
環境  
教育・人づくり  
地域別計画  
めざす姿の実現  
めざす姿に向かって  
この計画を進めるために  
資料篇

# 索引

## あ行

アートツーリズム	130
アウトLOOKレポート	160,161
青森県産品	41,42,46,61,63,64,147
青森県復興ビジョン	22,162
青森県復興プラン	22
青森ブランド	3,42,43,44,55,56,57,58
青森ライフイノベーション戦略	25,65
あおもり立志挑戦塾	27
アグリ	2,46,61,63
安全・安心、健康分野	41,45,49,56,58,61,75,148
域内循環	47,147
生きる力	53,62,92
イノベーション	7
インフルエンサー	69,160
運輸部門	86
エコツーリズム	68,84,130
エコドライブ	86
オープンデータ	19,74
温泉熱	66,87

## か行

外貨(の)獲得	46,47,56,68,103,147
開発規制地域	84
核融合エネルギー	31,32,46
課題解決型イノベーション	7,38,56
家庭の教育力	92
環境公共	84,85
環境分野	41,45,51,56,58,62,84,148
観光コンテンツ	28,68,106,121,123,128
観光地域づくり	47,61,68
がん登録	76
企業誘致	61,73,169,170,171,172,173,175,178
キャリア教育	91
教育、人づくり分野	41,45,53,56,58,62,89,148
行財政改革	159,162
共生	41,51,61,62,79,84
クラウドコンピューティング	19,74
グリーン	2,46,61,66
グリーン・ツーリズム	57,68,70,103,105,111 114,115,120,130,135
グローバル化	6,17,18,19,21,24,37,41,44,46,53,57,159
ゲートキーパー	128
健康寿命	25,65,112,114,120,154,174
減災	82
原子燃料サイクル	31,32,129,131,135
県内総時間	151,155,156
県民総時間	151,152,155,156
合計特殊出生率	12,176
交流人口	21,29,47,103,112,114,120,147,155,156
高齢化	6,12,24,46,65,66,92,98,104 117,122,130,132,134,136
子どもの放課後対策	92
コミュニティビジネス	57,98
コメディカル	61,77

## さ行

再生可能エネルギー	32,46,52,61,62,66,86,87,88,105,113,119 135,138,143,169,170,171,172,173
サイバー犯罪	19
里地里山	84,85
産学官金	66,71,92,103,111,119
産業観光	68,114,120,130
産業クラスター	105
産業・雇用分野	41,45,56,58,61,63,147
産業部門	86
三内丸山遺跡	34,47,54,68,99
三陸復興国立公園	36,114,115,118,120
ジオパーク	139
次世代核融合炉	46,67
次世代自動車	86
自然環境保全地域	84
シニア	89,92,94
周産期医療体制	78
重点港湾	2
重要港湾	21,115
循環型	52,61,62,67,86,113,119,174
少子化	6,12,24,46,50,65,66,92,98,104,122,178
小水力	52,87
使用済燃料中間貯蔵施設	31
情報発信	28,61,63,69,84,94,95,112,114,119 120,121,128,135,137,143,159,160
縄文遺跡群	94,123
食料自給率	33,38
白神山地	35,36,47,51,62,84,106,107,112,123,128
人口減少	2,6,12,24,38,46,47,50,53,57,61 65,66,92,98,104,113,122,130,132 134,136,147,148,151,160,178
人財	14,18,22,24,27,31,37,41,42,43,45 46,47,48,53,54,56,57,58,61,62,67,73,75,77 78,80,88,89,91,92,93,94,95,98,104,105,111 112,114,115,119,120,127,128,129,135,138 143,144,147,160,169,170,171,172,173,174
人財の「地産地活」	57,58
スポーツ科学	95
スポーツツーリズム	68
スマートグリッド	32,67
生活習慣病	16,98,104,147,156,178
生活創造社会	2,6,7,24,41,53,62,89
生産年齢人口	11,14,100,108,116,124,132,140,154
成長戦略	6,8,55,58
セーフコミュニティ	136
世界自然遺産	35,36,47,51,62,84,123,128
攻めの農林水産業	24,25,34,46
専門学校	91
戦略キーワード	58,147,148,160
戦略プロジェクト	58,147,148,160,161
総合型地域スポーツクラブ	95

## た行

確かな学力	53,90
(森林の)多面的機能	84,85
多様性	34,53,84,89
男女共同参画	159,169,170,171,172,173
地域医療	49,61,77,174
地域経営	24,43,46,57,93,97,103,111,114,129
地域コミュニティ	12,57,66,98,104,136
地域資源	28,33,34,35,36,38,42,47,51,56 61,65,68,71,96,103,105,107,109,112 114,115,121,123,128,135,137,174
地域連携バス	76,177
地球温暖化	31,52,84,86,105
蓄電池併設型ウインドファーム	131
地中熱	52,66,87
地熱	32,52,87
着地型観光	68,97
チャレンジ精神	27,92,131,135
注指標	8,151,154,155,160,161
津軽海峡交流圏	29
低炭素	51,52,61,62,67,84,86,113,119,174
ドクターヘリ	78,177,178
特別支援教育	62,90
取組の重点化	7,58,147,148,160,161

## な行

内航船	31
日本一健康な土づくり運動	85,135
年少人口	11,12,100,108,116,124,132,140
農業産出額	34
農工ベストミックス	65
農商工連携	57,61,63,65,103,119

## は行

バイオマス	32,52,65,66,67,87,119
バリューチェーン	55
東日本大震災	6,20,22,23,24,30,34,82,102 113,114,115,117,118,121 125,126,130,134,159,162
複層林	85
ブルー・ツーリズム	114,120
プロテオグリカン	25,26,65
分野横断	55,56,58
平均寿命	2,12,16,17,38,49,65,102,110 114,122,123,126,151,152 153,154,155,156,178
ヘルスプロモーションカー	25
ヘルスリテラシー(健やか力)	56,61,75,106,112 114,120,122,136,144,178
保健・医療・福祉包括ケアシステム	61,75,76,177,178
ホスピタリティ	47,68,70,114,120
北海道新幹線	20,29,69,74,97,98,99,101,103,106 107,112,120,128,134,137,143,147
北極海航路	30

## ま行

マーケティング	69,93,119,143
マネジメントサイクル	159,160,161
水循環	62,84,85
民生(家庭)部門	86
民生(業務)部門	86
メガソーラー	32,115
ものづくり	37,65,67,68,72,73,92,105 111,113,115,119

## や行

ヤマセ	99,107,115,123,131,139
輸入促進地域(FAZ)	21

## ら行

ライフ	2,25,46,61,65
リーマンショック	17,117,175
立体観光	70
良医を育むランドデザイン	26
労働力人口	12
老年人口	11,12,14,100,108,116,123,124,127 132,140
ロジスティクス	30

## わ行

ワーク・ライフ・バランス	48,73
--------------	-------

## アルファベット・数字

EV	67,86
GAP	64
HACCP	64
ICT	6,17,19,24,25,32,38,69,74 119,138,143,159
ITER	31,32,46,131
LNG	31,32,71,115,119
MICE	69
NPO	70,88,91,94,98,106,112,130 159,169,170,171,172,173
PHV	67,86
SNS	69
VIC・ウーマン	93
Wi-Fi	70
入(ラムダ)プロジェクト	29
1人当たり県民所得	151,152,153,155,156
3R	52,62,86,88,113,119
6次産業化	57,61,63,65,105,111,114,119 121,127,135,143

## 青森県企画政策部企画調整課

〒030-8570 青森市長島1-1-1  
TEL.017-722-1111(代表)

平成26年3月発行

・この印刷物は、4,000部作成し、企画から印刷までの作成経費は1部当たり2,021円です。